

錦城高校新聞

題字 井口 文章
再刊 第249号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：ゴミの調査第二弾！
スクールバッグ改善に向けて
二面：北高とジャポナムに履き行ってきた文化プログラムで伝える、五輪の情熱



「気を緩めず分別続けて」

解決に向かうゴミ問題

錦城高校新聞では1学期末の7月、235号にて錦城生のゴミ分別の実態を調査した。しかし夏休み終了直前の段階では、多くの教室で分別がまだまだ不十分な実態が明らかになっていった。2学期も終わりを迎えた今、その実態はいかほどなのだろうか。



ゴミを回収する清水さん。回収業者の常盤組が週に4日回収している



7月に比べ分別ができています

回収する人を意識して
錦城内の施設の整備・美化などを担当する宮崎の小野泰浩さんによると、錦城生のゴミ

分別は錦城祭が終わった辺りから顕著に改善され始め、現在はかなり良くなったという。錦城祭中の特設のゴミ置き場で私たち宮崎2人が直に

生徒たちに分別の仕方を教えることができた効果もあるのでは」と小野さん。

ただ、ゴミ捨て場のカンを置く場所に汗や日焼け止めのスプレーなどが捨てられていることが度々あるそう。小野さんは「スプレー缶は私たちがガスを抜く処理をしてから捨てるので、スプレー缶用のゴミ箱に入れてほしい」と真剣な表情で語る。

スクールバッグ改善案 話し合い進む

生徒会の意見箱に「学校指定のリュックサックを作って欲しい」などの意見が入れられていたことを受け、中央委員会・代議員会は10月末から話し合いを進めている。事前の代議員の代表3人と話し合いの中で中央委員会は一リュックがあったら使うか？使わないか？という質問を予定していた。しかし、初の10月27日(金)の話し合いで代議員から「まず生徒が今のスクールバッグに対してどう感じているのかを調べる必要があるのでは」という意見が出た。その意見により、全

校生徒に行われるアンケートは「今のスクールバッグに不満を持っているか？」という質問事項を主軸に置くことになった。アンケートは10月30日ごろに各クラスで行われ、代議員により集計された。そして11月17日(金)の昼休みに書道室にて再び代議員会が開かれ、全校生徒へ10月末に行ったアンケートの結果が代議員全員に発表された。

アンケートの結果は、1、2年生が「改善した方がいい」と「現状のままでいい」がほぼ半々、3年生は「現状のままでいい」が若干多いという結果になった。代議員長の飯島ゆいさん(2C)は集計した印象を「3年生は直接影響がないからか『現状のままでいい』という意見が多かったですが、自由記入の改善案を一番しっかりと書いてくれたのも3年生でした」と話す。

そしてその後11月27日(月)に行われた代議員会では「生徒の声がほぼ半々の現状で、このまま改善に向けて話

「優勝できてよかった」ハンド部の

11月26日(日)に行われた第13回江戸川区秋期ハンドボールオープン大会で女子ハンドボール部が優勝した。女子ハンドボール部部長の秀徳芽衣さん(2L)、最優秀選手賞を受賞した安里歩実さん(2L)に話を聞いた。今年度は去年に続き二度目の優勝だそう。決勝戦はそれまでの試合に比べて「相手がよく動き回っていたため、誰を見ればいいのか分からずに混乱しました」と秀徳さんは話した。練習では速攻のパスをうまく出せなかったり、ディフェンス同士の連携がうまく取れなかった。



優勝を受け笑顔で話す2人

「大学で何をするか」を考え学部選びを

12月9日(土)、一年生対象に情報集中講義が行われた。大学の講師から学部の内容や必要な知識などについて各教室で講義を受けた。



機械系の仕事は非常に多岐にわたる

医療学では北里大学の美坂薫さんに話を聞いた。従来の医療は医師が中心となっていたが、現在は看護師や理学療法士など多岐にわたる。また、医療機器の開発やメンテナンスなど、幅広い分野で活躍している。また、医療機器の開発やメンテナンスなど、幅広い分野で活躍している。

しかし取材中、収集車のプレス機で押しつぶされていたゴミ袋が破裂音を立てて弾け、中の紙片が地面に散った場面があった。5分ほどで掃除を終えた清水さんは「ゴミ袋のなかにいっぱいゴミが詰まっていたら大変なことになる」と話した。

清水さんは「ゴミ袋は8分目に、分別は引き続ききちんとやってもいいと思います」とメッセージを送った。

「本の福袋フェア」と題して、本の貸し出しを行っています。福袋は図書委員の生徒がテーマを決めて何冊かの本をパッキングしています。包み紙に書かれたテーマを参考に本を選んでみてください。新たな発見があるかも!?

あちこちで色鮮やかなイルミネーションをみかけられるようになり、クリスマスが近づいているのを感じる。景色を彩るイルミネーションは、見ている人たちの心を温める。一か月前には黄色のシャンデリアのようだった錦城高校のイチョウの木だが、今はすっかり葉が落ちてしまった。このように寒い季節に花を咲かせる植物がある。ヘルボレス、通称クリスマスローズだ。「クリスマス」という名前から、12月下旬に花を咲かせるのかもしれない。12月1日(月)に花を咲かせるのかもしれない。12月1日(月)に花を咲かせるのかもしれない。

小平の冬野菜はいかが？

12月22日は冬至。カボチャを食べたり、風呂にゆずを浮かべたりする生徒もいるのでは？先日の小平市報でも取り上げられた高橋農園は、錦城正門を出て左すぐにある農園。季節の様々な野菜が直売されています。この直売所には、冬至にピッタリのゆずもずり。お風呂に浮かべるだけでなく、香りを楽しむのもまた一興。他にも白菜などが売られています。寒い日に鍋などを囲み、ほっこり温まるのもいいかもしれません。

むらさき草

クリスマスといえばイエス・キリストの誕生日だ。キリストが生まれた際、マデロンという少女がお祝いに駆けつけた。多くの人がお祝いする物がないと涙を流す中、貧しい彼女はお祝いする物がないと涙を流す。マデロンは花を摘み取り、キリストに捧げたという▼思想家の中村天風の言葉で「一時は種の通り花が咲く」という言葉がある。今のうちに何かを積み重ねていけば、クリスマスローズのように1月以降に花が咲くかもしれない。

本校2年生の Reading の教科書「CROWN PLUS」でも取り上げられている江戸時代後期の天才浮世絵師、葛飾北斎。
現在国立西洋美術館では2018年1月28日(日)まで『北斎とジャポニスム』展が開催中だ。せっかくの冬休み、たまには机から離れて、博物館や美術館に足を延ばしてみたいか？

北斎が西洋に与えた影響に迫る

「北斎とジャポニスム」展
を取材

国立西洋美術館で開かれていた『北斎とジャポニスム HOKUSAI』が西洋に与えた衝撃「展」を取材した。国立西洋美術館、事業担当の古澤美久さんと研究員の袴田紘代さんに話を聞いた。今年夏、イギリスの大英博物館でも展示会が開かれたほどだ。

北斎の人気の理由は、開国後、北斎の作品を初めとした日本美術が海外へ多くもたらされた。北斎の作品は遠近法など型にはまった手法に捉われていた西洋にとつて

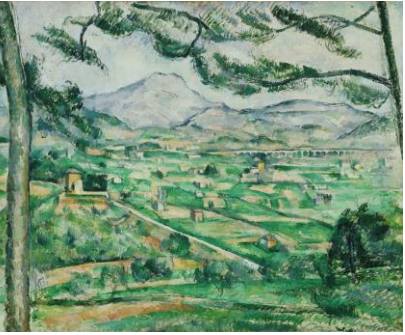
世界が夢見るHOKUSAI



1 葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
1830-33(天保元-4)年頃 横大判錦絵 24×37.2cm
26×37.7cm ミネアポリス美術館
Minneapolis Institute of Art, Bequest of Richard P. Gale 74.1.230
Photo: Minneapolis Institute of Art



1 葛飾北斎《富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二》
1830-33(天保元-4)年頃 横大判錦絵 24×37.2cm
オーストリア応用美術館、ウィーン MAK-Austrian Museum of Applied Arts / Contemporary Art, Vienna Photo: ©MAK/ Georg Mayer



2 ポール・セザンヌ《サント=ヴィクトワール山》
1886-87年 油彩、カンヴァス 59.7×72.4cm
フィリップス・コレクション、ワシントンD.C. The Phillips Collection, Washington, D.C.

①2年生の教科書に載っている、これぞ北斎。
「The Great Wave off Kanagawa」
②、③後方に富士山が取り入れられており、構図がそっくり。北斎の浮世絵は19世紀の巨匠セザンヌの想像のヒントになった。

未来へつながる五輪への情熱

11月26日(日)、パナソニックセンター東京で東京2020公認プログラム取材会「文化プログラムキッズプレステア」が行われた。このキッズプレステアは、共同通信社と文化庁が共同で開催している。企画に携わった一人、文化庁の堀口昭仁さんに話を聞くと「これは様々なプログラムに対してそれを若い人が取材できる場のことです。全国各地で開催していま

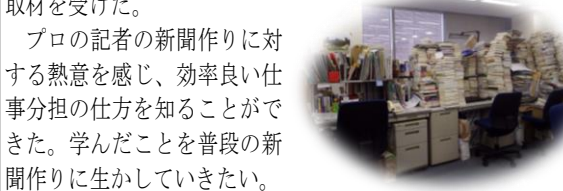
今回取材した特別企画展「The Passions みんなの熱が未来をつくる」では、1964年東京オリンピックに向けて先人たちの情熱や2020年への新たな取り組みを、当時の貴重な展示品と共に紹介している。会場には体験型の展示もあった。『みんなのピクト』では、体操などのオリンピック競技や「感情」といったお題に沿ってポーズをとると、その形がピクトグラムとなって画面に表示される。その画面の横には他の人が作ったピクトも表示されているため、自分も表示されたピクトと見比べてみるのも面白い。他にも、エンブレムの形を組み替え、独自のデザインを作る展示など、体験しながら展示を楽しむことができた。

今後全国で文化プログラムは開催され、取材会は来年も企画されているそうだ。機会があればこれからもこのように取材会やプログラムに参加していきたい。(巴・碧)

プロの記者と交流 in 朝日新聞社

243号で取材した朝日新聞東京本社文化くらし報道部の江戸川夏樹さんに招待され、11月19日(日)に本校編集部有志9名は朝日新聞本社を見学した。新聞が発行されるまでの工程の説明や編集部の案内などを受け、また高校生のSNS事情を調べている社会部記者の原田朱美さんからも取材を受けた。

プロの記者の新聞作りに対する熱意を感じ、効率の良い仕事分担の仕方を知ることができた。学んだことを普段の新聞作りで生かしていきたい。



取材を受けた。プロの記者の新聞作りに対する熱意を感じ、効率の良い仕事分担の仕方を知ることができた。学んだことを普段の新聞作りで生かしていきたい。

国立西洋美術館の館長は何年も前からジャポニスム(西洋における日本美術からインスピレーションを得た創作活動)を研究していたそうだ。長年ジャポニスムに関する展覧会を二度と開催されない。終われば集まった作品は元の場所に戻ってしまう。美術館には大量の書籍が積み上がっている。

「もつと来てほしい。同じ展覧会は二度と開催されない。終われば集まった作品は元の場所に戻ってしまう。美術館には大量の書籍が積み上がっている。」

美術館に行ってみよう

古澤さんによると『北斎とジャポニスム』展の来館者に占める高校生の割合は1%。大学生や入場料が無料の小中学生の方がよく来る」と言う。そのことに対して袴田さんは「NHKの日曜美術館「HOKUSAIの衝撃」(12月24日)の午後8時〜8時45分にも再放送されます。より詳しく北斎について知りたい人は見てもいいかもしれない。」

北斎の価値を再輸入
確かに日本でも昔から北斎は良く知られているが、浮世絵などの版画は19世紀当時、美術的価値が低いとされた。最近になって『北斎すごい、日本の誇り』といった風潮がとくに広がっている。潮がある意味西洋から北斎の価値を再輸入した印象。自分たちでも北斎の価値を発見していくことが大事」と袴田さんは話した。

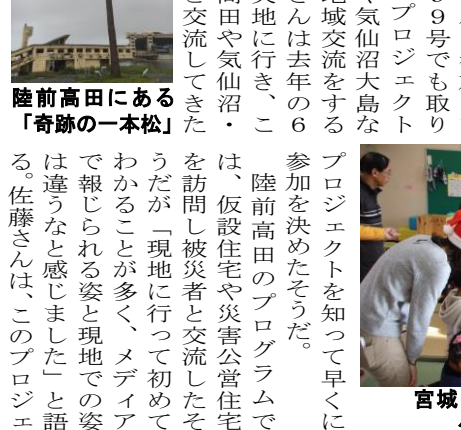
被災地で交流

佐藤さんは立教大学の東日本震災復興支援プロジェクトというサークルに参加している(以前199号でも取り上げた)。このプロジェクトは、陸前高田や気仙沼大島などの被災地で地域交流をするものだ。佐藤さんは去年の6月に初めて被災地に行き、これまで陸前高田や気仙沼・大島などの方と交流してきた。

みやぎ総文特集〜震災から6年半⑥〜

第6回となる「震災から6年半」。今回は前回に引き続き、本校卒業生のボランティア活動を紹介します。現在立教大学コミュニケーション福祉部に所属する2年生の佐藤芽玖さん(51回生)に話を聞いた。

被災地で交流
佐藤さんは立教大学の東日本震災復興支援プロジェクトというサークルに参加している(以前199号でも取り上げた)。このプロジェクトは、陸前高田や気仙沼大島などの被災地で地域交流をするものだ。佐藤さんは去年の6月に初めて被災地に行き、これまで陸前高田や気仙沼・大島などの方と交流してきた。



宮城県大島の子どもたちとクリスマス会で交流

ペットの部屋 番外編

今回紹介するのは、生物部が飼っている「アルビノレッドコーンスネーク」です。生物部内では、「レッドコーン」や「コーンさん」と呼ばれているそう。部員の千田雪月さん(1F)は「目が赤く、クリクリしている姿がかわいいです」とレッドコーンスネークのよさについて笑顔で話しました。

このレッドコーンスネークは、買った当時はボールペンほどの大きさだったそう。それが今では1メートル50センチにもなり、10センチもある冷凍ネズミを丸飲みしてしまうとか。飲み込む最中、頭からしっぽにかけてお腹が膨らみ、ゆっくりと消化するそうです。(巴)

ペットメモ
アルビノレッドコーンスネークとは、コーンスネークと呼ばれる種の一つで、体が赤と白で出来ているものを呼ぶ。主にアメリカに分布しており、森林から草原まで幅広く生息する。最大全長は180センチメートルにもなるという。食性は、ネズミを始めとする齧歯類を好み、他には小型の動物を食べる。コーンスネークはのんびりとした性格のため、噛みついてくることめったになく、ハンドリングなどでスキンシップを楽しむこともできるだろう。

| 大会報告 | |
|-------------|---------------|
| 柔道部 | 11月19日(日) |
| 東京都第3支部新人大会 | (男女個人) |
| 60 kg級 | 準優勝 森田伊吹輝(2G) |
| ベスト8 | 堀田陸1(K) |
| 66 kg級 | 白石真大(1K) |
| ベスト8 | 古賀亮作(1A) |
| 73 kg級 | 渡邊泰地(1C) |
| ベスト8 | 高橋靖知(1E) |
| 生徒会動静 | 12.12~12.20 |
| 12月12日 | 中央委員会臨時定例会 |
| 12月13日 | 図書委員会 合唱祭委員会 |